

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 見えないものを見ようとする努力が大切 宮脇 哲 (植物生態学者)

1. 私は潜在自然植生という方法に従って、その土地本来の森林に近い樹種を組み合わせた木々を植える活動を、40 年以上にわたって行ってきました。日本の多くの地域で、本来の森林はシイ、タブ、カシ類といった常緑広葉樹を主とした照葉樹林が中心でした。これらは深根性直根性といった特徴があり、自然災害でも倒れにくい。一方、現在の多くの森林は、土地本来の木々ではありません。人間の管理が必要です。
2. 本物は大器晩成ですが、あらゆる困難でも生き延びる。ニセモノは見た目はきれいですぐ育つのですが、ちょっとしたことでダメになりやすい。もちろん木を植えることにはさまざまな目的があります。その地域にどんな自然が育つ潜在能力があるのかを知るためには、「現場、現場、現場」です。机の前で自然を知ることはできません。
3. 潜在自然植生という考え方は恩師チュクセン教授に学んだものです。「若い者には、二つの種類がある。一つは見えるものしか見ようとしないう者。彼らは計算機で遊ばせておけばいい。もう一つは見えないものを見ようとする努力するタイプ。君はこのタイプだから、現場に出て一生懸命学ばなさい」と言われたのを、今でも覚えています。

(参考:「週刊東洋経済」2012年2月18日号)

## 経営者のための理念・哲学

### どんな環境でも悠々自適

1. 「君子はその位に素<sup>そ</sup>して行い、その外<sup>ほか</sup>を願わず」。孔子の孫、子思が著した「中庸」にある言葉である。立派な人物は自己に与えられた環境の中で、運命を呪ったり不平不満を言ったりせず、精一杯の努力をし、それ以外のことは考えない、ということである。
2. さらに本文は続く。「富貴<sup>ふうき</sup>に素<sup>そ</sup>しては富貴<sup>ふうき</sup>に行い、貧賤<sup>ひんけん</sup>に素<sup>そ</sup>しては貧賤<sup>ひんけん</sup>に行い、夷狄<sup>いてき</sup>に素<sup>そ</sup>しては夷狄<sup>いてき</sup>に行い、患難<sup>くわんなん</sup>に素<sup>そ</sup>しては患難<sup>くわんなん</sup>に行く。君子入るとして自得<sup>じとく</sup>せざる無し」。裕福で地位が高い時も、貧しくて地位が低い時も、辺鄙な地にいる時も、苦難<sup>くたんな</sup>の真<sup>ま</sup>っ只中<sup>ただなか</sup>にある時も、おごらず、へこたらず、その立場にある者として最高最善の努力をする。君子はどんな環境にいても悠々自適<sup>ゆうゆうじてき</sup>である、と「中庸」は教える。

(参考:「致知」:2012年5月号)

## 新規成長分野

### 民間主導のEV天国作り (沖縄)

1. EV (電気自動車) を購入しようと考えた時、不安なのが航続距離の問題だ。ところが、そんな心配をほとんどない「EV天国」が、既に日本国内に存在している。それが沖縄だ。本島の大きさは南北 130 km、東西 30 km。県内 10 社、県外 16 社が共同出資して設立した企業、エー・イー・シー (AEC、那覇市) が、県内 18 カ所に 27 基の充電器を設置し、EV利用者向けの充電サービスを提供する。
2. 沖縄のEV普及のカギはレンタカー。AECの出資企業には三菱自動車などが名を連ね、登録レンタカー台数 2 万台という一大市場に売り込みをかける。ただし、真の狙いはレンタカー市場の次にある。「沖縄では中古車市場が発達している。レンタカー会社は、中古車市場に車両を放出することを前提にすればEVのレンタル料を抑えられる。その間に充電インフラを我々が構築し、県民が安心して中古EVを購入できる環境を整える」(AEC幹部)。

(参考:「日経ビジネス」2012年2月27日号)

## 古典に学ぶ

### 偉い人は母が育てる

「とにかく優秀な人材は、その家庭において賢明なる母親に、撫育<sup>ぶいく</sup>された例は非常に多い」

(訳) 優秀な人物というものは、多くは家庭で賢い母親に、育てられるケースが非常に多い。つまり、新しい人材を作り、社会が発展していくための基礎作りの一端を、母親という存在が、少なからず担っているわけです。

(参考: 渡澤健「渡澤栄一 100 の訓話」: 日経ビジネス人文庫)